

日本性科学会 ニュース

第16巻第4号

平成9年(1997年)12月

発行人:野末 源一 印刷所:絢文社

平成10年度 研修会および学会の予告

第27回 性治療研修会

日時 平成10年4月26日(日)

場所 山之内製薬株式会社2階ホール(東京・JR新日本橋駅 徒歩5分)

テーマ トランスセクシャル

(定義とアメリカの現状・日本の現状と精神的サポート・外科的手術)

第18回 日本性科学学会

日時 平成10年10月23日(金), 24日(土)

場所 沖縄郵便貯金会館(メルパルク沖縄)

那覇市松川20番地 TEL 098-887-5000

メインテーマ 性障害の Comprehensive Approach (包括的接近)

—— 医学的, 心理学的, 社会文化的立場から ——

学会長 石津 宏(琉球大学医学部精神衛生学教室教授)

学会事務局 〒903-01

沖縄県中頭郡西原町上原207

琉球大学医学部 精神衛生学教室

TEL 09889-5-3331

FAX 09889-5-2841

Vol. 16

No.
4

日本性科学会

〒107 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F

長谷クリニック内

TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

第3回日本性科学会総会議事録

平成9年10月4日(土) 午後1時20分
自治医科大学地域医療情報研修センター
出席者 36名 委任状 138名

島村幹事が司会をつとめる。

はじめに去る8月急逝された、故矢追良正倫理委員会委員長の冥福を祈り黙禱を捧げた。

司会者より、「議長の選出をいかにすべきか」を議場に諮り、「司会者一任」の声を受けて、玉田会長が推薦される。

玉田議長着席し、出席者数、委任状数報告の後、議事に入る。

議 事

1. 第2期(平成9年度)事業報告
長池総務担当理事より報告。特に資格認定制度の実施状況に関しては阿部委員長、他団体との交流に関しては大川幹事より説明が行なわれた。
2. 第2期(平成9年度)決算の承認について
山崎財務担当理事よりの説明の後、議長より、年度終了直後の総会開催であるため、監事の監査は終わっていないが、理事会の承認済みである旨の補足発言あり。
議長より、1, 2を一括して諮り、拍手をもって承認可決された。
3. 第3期(平成10年度)事業計画案の承認について
長池総務担当理事より説明が行なわれた。
4. 第3期(平成10年度)予算案の承認について
山崎財務担当理事より説明が行なわれた。
議長より、3, 4を一括して諮り、拍手をもって承認可決された。
5. 日本性科学会理事長選任について
松本理事長より、80歳に達したので今期をもって退任したいこと、後任には野末副理事長を推薦したい旨の提案があり、拍手をもって承認決定された。
野末新理事長より就任の挨拶あり。
6. 日本性科学会理事選任について
野末理事長より、資格認定制度を進めている現状において現行理事を再任したいこと、新たに前学会長の熊本悦明参与、この度世界性科学会理事に就任した大川玲子幹事を理事に推薦したい旨の提案があり、拍手をもって承認決定された。
7. 日本性科学会監事選任について
野末理事長より、飯沼監事を再任したい旨の提案があり、拍手をもって承認決定された。
8. 第19回日本性科学会会長選任について
野末理事長より、杏林大学保健学部川野正資教授(三重看護大学教授に就任予定)を推薦したい旨の提案があり、拍手をもって承認決定された。
9. その他
野末理事長より、松本清一前理事長の顧問就任、広井正彦理事(山形大学産婦人科教授)の倫理委員会委員長就任が理事会で決定した旨が報告され、了承された。
10. 第18回日本性科学会石津会長挨拶
石津次期学会長より、平成10年10月28日(木)、29日(金)沖縄において「性障害のComprehensive therapy(包括的アプローチ)」というメインテーマで、マレーシアより講師を招聘して開催する予定である旨の挨拶があった。

玉田議長の閉会宣言にて午後1時50分終了。

第2期(平成9年度)事業報告

(平成8年10月1日～平成9年9月30日)

1. 第2回総会
日 時 : 平成8年10月5日
場 所 : 札幌市・札幌共済ホール
出席者 : 31名 委任状 : 130名
2. 会員状況(平成9年9月30日現在)
正 会 員 260名 賛助会員 3法人
3. 会の運営
(1) 理事会 3回 (2) 幹事会 4回 (3) 倫理委員会・認定制度委員会・幹事会合同会議 1回
(4) 認定制度委員会・幹事会合同会議 5回
4. 資格認定制度実施状況
① 認定申請者 ・セックス・カウンセラー 10名 ・セックス・セラピスト 18名
② 資格認定 11月には資格認定者を決定し、年内に認定証を交付する予定。
③ スーパーバイザー委嘱 検討中
5. 会の活動
(1) 研修会 1回開催 (2) 症例研究会 6回開催 (3) 学会誌 2回発行 (4) 学会ニュース 4回発行

6. 団体交流

(1) 日本性科学連合

- 加盟団体：日本性科学会, (社)日本家族計画協会, (財)日本性教育協会, 日本思春期学会, 日本性機能学会, 日本性感感染症学会
- 発足記念セミナー開催：平成9年3月29日 カンダ・パンセホール

(2) 世界性科学学会 (W A S)

- 第13回世界性科学会開催：1997年6月25日～29日 スペイン・バレンシア
大川玲子氏（国立千葉病院，本学会幹事）が，W A S 総会において理事に選出された。

理事長就任に際して

日本性科学会理事長 野 末 源 一

松本清一先生の後を継いで理事長を仰せつかりました。松本理事長の時代には会の運営は幹事会で立案して、理事会にかけ、理事会から幹事会に実行案を検討させるという、近代的な運営方法が確立していますので、是非その方向を守りたいと思います。日本性科学会では今後の展望が大切ですが、これは会員のニーズにあうサービスを第一として、学会会長、理事会、幹事会が一体となり、また世界の動向をも考慮に入れて決めて行きたいと思っております。具体的には、会員各位、学会会長、常務理事、理事、幹事会との間の積極的な意見の交換が大切であります。本会は歴史的に、性医学的なニュアンスが多いのですが、今後幅を広げ、疾患をふくむ 性の健康 = Sexual Health について取り組む必要があります。

セックス・カウンセラー、セックス・セラピスト資格の発足は性の健康を展望に入れた本会の新しい事業として、社会に貢献できる制度であります。是非多くの会員に参加していただき、社会を構成する人々の生活の質 (Quality Life) を高め、今後の新しい社会に貢献してゆきたいと思っております。

性の研究には、以前から、タブーの問題が何時も絡んでいました。“食と性”は我々を構成する身体の大半を占めている大切な機能です。食と特に性については、古くから、それぞれの社会のそれぞれの異なる規範があります。カウンセラーと性の研究の自由を守り、内部から会の倫理性を高めるために、倫理委員会が設置されています。委員長は本会理事である山形大学の広井正彦教授 (産婦人科) で今後広い視野からの活躍が期待されます。

丁度時を同じくして、WAS (世界性科学連合 World Association of Sexology) でも倫理規約 (Code of Ethics) が纏まりました。WAS の運営担当理事として本会の大川玲子理事が本年より参画しておられるので、WAS の規約の整合性のある然も日本独自の倫理規約にして戴きたいと思っております。「思高手低」と諺にあるように、会の理想を高く持ち、出来るところから行ってまいりたいと思っております。会員の皆様の益々のご支持を得られるよう努力したいと存じます。

資格認定制度委員会報告

委員長 阿 部 輝 夫

本年度から施行された資格認定制度における過渡的措置に対して、

セックス・カウンセラー 10名 セックス・セラピスト 18名

の認定を希望する申請がよせられた。資格認定制度委員会がこれらを慎重に審査を行い、次のような結果となった。

資格認定者

セックス・カウンセラー (9名)

山崎高明、岡村 靖、広井正彦、石津 宏、長池博子、島 典子、森島正視、荒居百合子、佐藤ち江

セックス・セラピスト (17名)

長田尚夫、河野友信、山崎高明、亀谷 謙、岡村 靖、大川玲子、村口喜代、石津 宏、金子和子、渡辺景子、大月一子、長池博子、西 丈則、青木孝允、木村泰治郎、島本雅典、石田雅巳

なお、ケース・レポートに不備があった2名に再提出を求め、1名は合格となり、1名はまだ提出がないため、保留となっている。

また、理事会は本学会の理事と幹事の役員をスーパーバイザーに認定し、セックス・カウンセラーと、セックス・セラピストの教育・指導にあたることになった。

認定証は、木の枠に嵌め込まれた金属板製で、年内中にお届けできるように準備中である。

今回提出されたケース・レポートの中には素晴らしい内容で感動させられたものもあり、ニュースなどへの掲載を考えているが、中には記載要領に準じないものや、内容の貧困なものもあったという委員会側の印象であった。本学会誌の症例報告などを熟読されることをお勧めする。

一 症例研究会のお知らせ

症例研究会の春季の予定が決まりましたのでお知らせ致します。この会は症例だけでなく、参加者が自分の専門分野や関心のあるテーマについての発表もある、なかなか貴重な会です。奮ってご参加下さい。

1月16日 渡辺景子先生 「思春期の症例—接触障害とセクシュアリティ」

3月19日 阿部輝夫先生 「女性の診断基準について—ワギニヌス、性交痛、性嫌悪等をどの様に考え定義するか」

5月22日 早乙女喜代美先生 「未定」

場 所 日本性科学会事務局

時 間 午後6時30分 ~ 8時30分

第2回「日本性科学連合 性科学セミナー」のお知らせ

日 時 1998年5月23日(土) 午後1時

場 所 国立公衆衛生院(目黒)

テ マ 性と人権

各団体からの演者が、それぞれの専門分野から見た問題点を語ります。幅広い視野と深い体験からの貴重なシンポジウムとなるでしょう。参加ご希望の方は往復葉書で性科学連合あてお申し込み下さい。